

小テスト (10分)

問題 2つのベクトル $\mathbf{A} = 2\mathbf{i} - 2\mathbf{j} + 3\mathbf{k}$ と $\mathbf{B} = -\mathbf{i} + 2\mathbf{j} + 2\mathbf{k}$ がある。この2つのベクトルに垂直なベクトルを求めよ。(長さは任意で良い)

発展とある問題は、力試しの問題です。授業中に解説などはいりません。ある程度解いてみて、自分の解答をチェックして欲しいという人は、レポート提出時に合わせて解答して下さい。(＋αの評価もします。)

問1 (積み残し) ベクトル \mathbf{A} の大きさが時間に対して一定であれば、ベクトル \mathbf{A} と $\frac{d\mathbf{A}}{dt}$ は互いに垂直であることを示せ。

問2 次の各式を時間 t で微分せよ。ただし、 \mathbf{r} は t の関数で $r = |\mathbf{r}|$ であり、他の文字は定数あるいは一定なベクトルを表すものとする。

$$(1) r^2 \mathbf{r} + (\mathbf{a} \cdot \mathbf{r}) \mathbf{b} \qquad (2) (a\mathbf{r} + r\mathbf{b})^2 \qquad (3) r^3 \mathbf{r} + \mathbf{a} \times \frac{d\mathbf{r}}{dt}$$

$$(4) \frac{\mathbf{r}}{r^2} + \frac{r\mathbf{b}}{\mathbf{a} \cdot \mathbf{r}} \qquad (5) r^2 + \frac{1}{r^2} \qquad (6) \frac{1}{2} m \left(\frac{d\mathbf{r}}{dt} \right)^2$$

$$(7) \mathbf{r} \cdot \left(\frac{d\mathbf{r}}{dt} \times \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2} \right) \qquad (8) \mathbf{r} \times \left(\frac{d\mathbf{r}}{dt} \times \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2} \right)$$

問3 \mathbf{a}, \mathbf{b} を定ベクトルとするとき、次の積分を求めよ。

$$(1) \int (\mathbf{a}t + \mathbf{b}) dt \qquad (2) \int \mathbf{a} \cos t dt \qquad (3) \int \left(\mathbf{r} \cdot \frac{d\mathbf{s}}{dt} + \frac{d\mathbf{r}}{dt} \cdot \mathbf{s} \right) dt$$

$$(4) \int \mathbf{r} \cdot \frac{d\mathbf{r}}{dt} dt \qquad (5) \int 2 \frac{d\mathbf{r}}{dt} \cdot \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2} dt \qquad (6) \int \left(\frac{1}{r} \frac{d\mathbf{r}}{dt} - \frac{d\mathbf{r}}{dt} \frac{\mathbf{r}}{r^2} \right) dt$$

問4 次の問に答えよ。

(1) 質量 m の質点に $-z$ 方向の重力加速度が働いている。運動方程式を記述せよ。ただし、運動方程式は $m \frac{d^2\mathbf{r}(t)}{dt^2} = \mathbf{F}$ である。

(2) 運動方程式を解いて、速度の時間変化を求めよ。ただし $t = 0$ で $\mathbf{v}_0 = \mathbf{0}$ とする。

(3) さらに、高さ h の塔から物体を自由落下させたときの位置の時間変化を求めよ。

問5 次の式を示せ。

$$(1) \mathbf{A} \times (\mathbf{B} \times \mathbf{C}) = (\mathbf{A} \cdot \mathbf{C})\mathbf{B} - (\mathbf{A} \cdot \mathbf{B})\mathbf{C} \quad (\text{ベクトル三重積})$$

$$(2) (\mathbf{A} \times \mathbf{B}) \cdot (\mathbf{C} \times \mathbf{D}) = (\mathbf{A} \cdot \mathbf{C})(\mathbf{B} \cdot \mathbf{D}) - (\mathbf{A} \cdot \mathbf{D})(\mathbf{B} \cdot \mathbf{C})$$

$$(3) \mathbf{A} \times (\mathbf{B} \times \mathbf{C}) + \mathbf{B} \times (\mathbf{C} \times \mathbf{A}) + \mathbf{C} \times (\mathbf{A} \times \mathbf{B}) = \mathbf{0}$$

問6 (基本) デカルト座標で表される単位ベクトル e_x, e_y を2次元の極座標の単位ベクトル e_r, e_θ で表せ。

問7 (重要) 以下の問いに答えよ。

- (1) 2次元の直交座標での位置 (x, y) を、極座標 (r, θ) を用いて表せ。
- (2) 直交座標での速度 (\dot{x}, \dot{y}) を極座標を用いて表せ。また、その大きさを求めよ。
- (3) 加速度 (\ddot{x}, \ddot{y}) を極座標を用いて表せ。また、その大きさを求めよ。

問8 発展 磁場中を運動する荷電粒子には、ローレンツ力 ($\mathbf{F}_L = q\mathbf{v} \times \mathbf{B}$) が作用する。ここで、 \mathbf{B} は磁束密度、 \mathbf{v} は粒子の速度、 q は粒子の電荷を表す。重力は無視できるとして以下の問いに答えよ。

- (1) 三次元空間で $-e$ の電荷をもつ荷電粒子が $\mathbf{v}(t) = (v_0, 0, 0)$ の速度で運動していた。時刻 $t = 0$ から $\mathbf{B} = (0, 0, B)$ の静磁場が印加された。 $t = 0$ で、粒子が受ける力 \mathbf{F}_L を求めよ。
- (2) $t > 0$ での粒子の速度 $\mathbf{v}(t)$ を $\mathbf{v}(t) = (v_x(t), v_y(t), v_z(t))$ とおく。粒子が満たすべき運動方程式を求めよ。ただし粒子の質量を m とする。
- (3) 速度 $\mathbf{v}(t) = (v_0 \cos(eB/m)t, v_0 \sin(eB/m)t, 0)$ が、(2) で求めた運動方程式を満たすことを確かめよ。
- (4) 三次元空間で $-e$ の電荷をもつ荷電粒子が $\mathbf{v}(t) = (v_0, 0, v_0)$ で等速直線運動している。時刻 $t = 0$ で $\mathbf{B} = (0, 0, B)$ の静磁場が印加されたとき、粒子がどのような運動をするか考察せよ。図を使って説明すること。

レポート問題 (4) 中島班 2008/5/12

A4 レポート用紙に解答を記入すること。学生番号、名前を記入し、2枚以上の時は必ず左上をホッチキスで止めて提出のこと。小テスト直後に回収します。

Q 以下の問いに答えよ。

- (a) 位置ベクトル $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ を頂点とする三角形の面積が $\frac{1}{2}|\mathbf{a} \times \mathbf{b} + \mathbf{b} \times \mathbf{c} + \mathbf{c} \times \mathbf{a}|$ であることを示せ。
- (b) 幅 a の直線車道すれすれに幅 a の車が一定の速さ V で進行している。車の前方 d の位置から歩行者が車道をまっすぐに一定の v で横切る。このとき、車と歩行者が衝突しない条件の中で、 v の最低速度とその時の角度 θ (道路と歩行者の進行方向のなす角) を求めよ。

注意事項

- 嶋原先生、八木先生の講義ノートなどを持ってくること。